

目次

- 学校で取り組む SDGs ～持続可能な未来を目指して～…P1
- SHINAGAWA GLOBAL DAY…P2
- オリンピック・パラリンピック教育…P2
- おうち時間に本と音楽が楽しめます
しながわ電子図書館・音楽データベース…P3
- オンライン配信！令和3年度第2回家庭教育講演会…P3
- 特別支援学級の開設…P4
- 品川学校支援チーム HEARTS…P4
- 学校改築を推進しています…P5
- 83運動にご協力ください…P5
- 令和3年度教育長杯について…P6



学校で取り組むSDGs

持続可能な未来を目指して

現在、国際的な取り組みとして注目を集めているSDGs。

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」という意味です。2015年9月に開催された国連サミットで「世界共通の課題」として採択されました。目標達成時期は2030年とされ、貧困の撲滅や環境保全、健康の促進など17の分野について、一人一人が自己認識をもって課題解決に挑むことを目指しています。

品川区立学校では、8・9年生の市民科において持続可能な開発目標を取り上げ、現代社会の問題について認識を深めています。他の学年においても、各教科でSDGsについて学んでいます。

また、特設コーナーを設けるなど、積極的に取り組む学校も増えはじめています。

学校での事例をいくつか紹介します。

山中小学校

17の目標を意識させながら授業を展開し、児童会や委員会が中心となって、リサイクルや食品ロスなどの環境問題の意識化を図っています。また、「山中おやこエコクラブニュース」を毎月発行し、親子でできる活動や、一人一人の意識を高める取り組みを促しています。こうしたことがきっかけとなり、児童はSDGsを他人ごとではなく、自分ごととして捉えることができようになりました。



富士見台中学校

令和元・2年度東京都教育委員会持続可能な社会づくりに向けた教育推進校として、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点に立った学習指導を実施しました。様々な教科

と関連させながらSDGsを題材とした問題解決型の学習に取り組み、外部人材や地域資源等の活用を意識した活動を行いました。

これらを通して、各教科等において、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図ることができました。

八潮学園

児童・生徒会では、各種委員会の目標をSDGsに関連付けて活動しています。役員が全校朝礼で牛乳パックのリサイクルについてSDGsの視点を踏まえて発表したことにより、全校児童・生徒の認識が高まりました。

また、生徒会新聞や委員会の活動内容を掲示するなどして、全校をあげてSDGsを意識した取り組みを行うよう工夫しています。



グローバル人材の育成に向けて

SHINAGAWA GLOBAL DAY

区では、区立学校教育要領に基づいた一貫教育の中で、9年間の系統的な英語教育、市民科学習やオリンピック・パラリンピック教育などを通して、「グローバル人材の育成」を目指しています。

令和3年11月6日に開催した「SHINAGAWA GLOBAL DAY」では、「グローバル人材育成」に係る取り組みについて、区立学校全校の学校公開、オンラインでの英語学習成果発表会などを行いました。

午前中に実施した各学校での学校公開では、ALTやJTEと連携した英語学習、オリンピック・パラリンピック教育で関わってきた世界各国の方々との交流活動、様々な職業の方々から学ぶドリームジョブなど各学校の実態に応じた内容を公開しました。

午後は、英語学習成果発表会・英語教育シンポジウムの様子をオンラインで配信しました。学習成果発表会では、各区立中学校・義務教育学校(後期課程)から選出された代表

生徒15名が、素晴らしい英語力を披露しました。シンポジウムでは、「子どもたちの未来を見つめる」をテーマに、区立学校の先生や生徒、卒業生らがディスカッションしました。

SHINAGAWA GLOBAL DAYの様子



英語での発表



ジュニア・イングリッシュキャンプ



ドリームジョブ

オリンピック・パラリンピック教育

区では、知・徳・体の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指し、平成28年度より年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック教育を実践してきました。

特に、児童・生徒がオリンピック・パラリンピックに興味・関心を持ち、自分たちにできることを真剣に考え、積極的に関わろうとする意欲を高めることを目的に作成した学習教材「よいい、ドン！しながら」は、東京2020大会を見て感じたことを記載するなど、振り返りでも活用されました。



品川区オリンピック・パラリンピック学習教材

東京2020大会以降も、各学校の実践をレガシーとして、共生社会の実現に向けて、家庭や地域と連携を図りながら進めていきます。

各校でのオリンピック・パラリンピック教育の実践



国際的な視野 国際交流の推進



和の心 しめなわ作り

おもてなし 商店街に元気をおくろうプロジェクト

**おうち時間に
本と音楽が楽しめます**
しながわ電子図書館・
音楽データベース

区立図書館では、インターネット上で本や音楽が楽しめる「しながわ電子図書館」と「音楽データベース」を導入しました。おうち時間の一つの楽しみとして、利用してみませんか。

しながわ電子図書館

鳴き声の出る図鑑、動く絵本、レシピ本など約1000タイトルの電子書籍が楽しめます。また、区立図書館で年2回発行している広報誌『Lili-Li』も読むことができます。

利用できる方

区内在住で、図書館の利用登録をしている方

貸出点数

1人2点まで

貸出期間

14日間(1回延長可)

音楽データベース

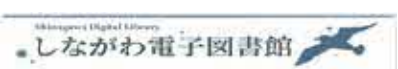
クラシック音楽を中心に、CD約13万枚分・200万曲以上の音源が視聴できます。検索機能も豊富で、お探しの楽曲が簡単に見つかります。

利用できる方

区内在住で、図書館の利用登録をしている方

利用期間

14日間または無制限
(利用方法により異なります)
詳細は図書館ホームページをご確認ください。



しながわ電子図書館 はこちら



音楽データベース はこちら



オンライン配信!
令和3年度
第2回
家庭教育講演会

教育委員会主催で毎年開催している「家庭教育講演会」。12月に行われた第2回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、講演を収録し、区立学校・区内幼稚園の保護者と学校関係者向けに、YouTubeで限定配信しました。

今年度のテーマは「家庭で考えるコロナ禍での子どもの心」です。今回は、臨床心理士の湯野貴子氏を講師に迎えました。湯野氏は精神分析的心理療法、プレイセラピーを専門とされ、医療や福祉、被災地などの現場で子どもの心理支援に携わっていらっしゃいます。

講演では、コロナ禍での子ども心の状況やストレスサイン、コロナ禍をトラウマにしない方法、子どもと一緒にできるセルフケアの方法や遊び方等についてお話しいただきました。「コロナ禍において、遊びに行けないこと、日常生活を以前と同じように送れないこと、親が社会全体の不安

等からストレスを抱えていることなどが、子どもの心にも大きな影響を及ぼしている。子どもたちのストレスを軽減するための方法としては遊びがとても重要であり、子どもの自由な遊びに寄り添うことが大切」とのことです。また、災害支援で実際に使われる親子遊びとして、呼吸法、リラックス、ヨガを使った遊びや、温もりやスキンシップを取り入れた遊びなどを紹介いただきました。

視聴した保護者からは、「早速生活に取り入れてみたい」「子どもと自分の心について考える良い機会になった」等の声が届いています。

来年度も家庭での教育に役立てていただけるようなテーマで開催していきます。



講演する臨床心理士 湯野貴子氏

◆一人一人の学びを大切に

特別支援学級の開設

令和4年4月から大崎中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を開設します。平成30年度に開設した浜川中学校に続き、区内では2校目の開設となります。

自閉症・情緒障害特別支援学級とは、知的発達に遅れを伴わず、自閉症や情緒障害などにより、大きな集団で学ぶことが困難な児童・生徒が、小集団（8人1学級）で、基礎的・基本的な学力や社会性を身に付ける学級のことです。

基本的には通常の学級と学習・指導内容は同じですが、自閉症・情緒障害特別支援学級の特徴は、小集団で情緒の安定・コミュニケーション能力を育成する授業（自立活動）を行っていることです。

自立活動では、認知機能を高めるトレーニングや生活の振り返りを行い、自己理解、他者理解を深めたり、ソーシャルスキルやストレス対処法等を学んだりします。



大崎中学校 自閉症・情緒障害特別支援学級の教室



特別支援学級での学習の様子

◆コロナ禍だからこそ
より心に寄り添って

品川学校支援チーム

HEARTS

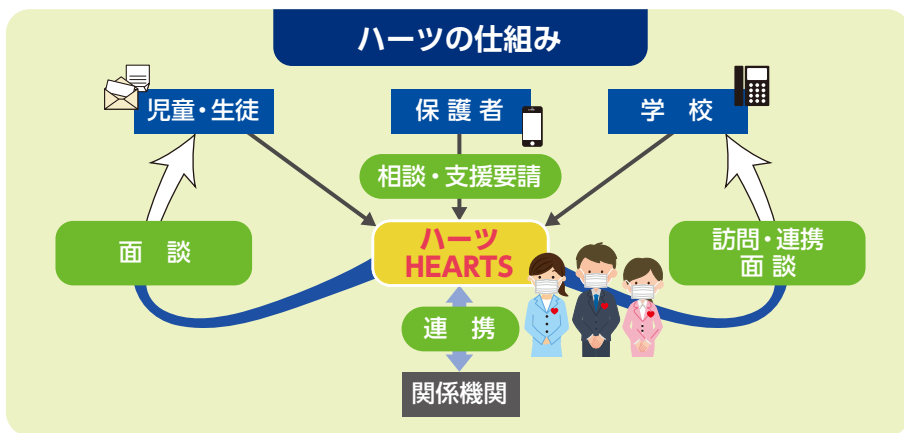
品川学校支援チームHEARTS（以下、ハーツ）は、区立学校に在籍する子どもの支援のための専門家チームです。不登校やいじめ、暴力行為、非行、家庭環境などにより、子どもが学習に向かえない状況になった時に、学校、家庭とともに解決に向けて一緒に考え、サポートしていきます。チームは、スクールソーシャルワーカー、心理士、元警察官、指導主事の多職種で構成され、教育総合支援センターを拠点として活動しています。

ハーツへの相談は、①相談専用電話②各区立学校に設置された目安箱③「アイシグナル」（7～9年生対象）④まもるっちのハーツ相談電話（1～6年生対象）で受け付けています。「アイシグナル」は、品川区教育委員会がNPO法人いじめ監視センターと提携し、いじめの未然防止、早期発見・解決を目的に導入しているシステムです。令和3年度からは、7～9年生を対象とし、配付されたタブレットのホー

画面に、相談受付フォームにつながる「アイシグナル」のアイコンが設置され、いじめ等の相談を申し込むことができます。より身近になりました。



アイシグナルアイコン



学校改築を推進しています

区では、学校施設の老朽化や就学人口の急増などに対応するため、計画的に学校施設の改築工事を進め、教育環境の改善に努めています。

学校・幼稚園名	工事の進捗状況等	
鮫浜小学校	令和3年7月 校舎竣工	・鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)地上4階、 地下1階建て ・同4年5月校庭整備 完了予定
浜川幼稚園	令和3年8月 園舎竣工	鉄骨造3階建て
浜川小学校	令和2年8月 改築工事開始	同6年3月 校舎竣工予定
第四日野小学校	令和3年7月 改築工事開始	同7年夏頃 校舎竣工予定
浜川中学校	令和4年夏頃 改築工事開始 予定	同8年夏頃 校舎竣工予定



令和3年7月に竣工した鮫浜小学校



令和3年8月に竣工した浜川幼稚園



浜川小学校(完成予想図)



第四日野小学校(完成予想図)



浜川中学校(完成予想図)

このほか、城南第二小学校では現在、改築工事に向けて基本設計を策定しています。
工事期間中は、児童・生徒・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮して行いますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

83運動にご協力ください

83運動は、「小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、なるべく外の用事を行いながら子どもを見守ろう」というスローガンのもと、品川区から始まった安心・安全のための見守り活動で、今では全国に広がっています。

登下校時刻に限らず、買い物や犬の散歩など外に出る機会があれば、子どもの様子を気にかけて、見守り活動にご協力ください。

区もこの運動の普及に努め、主にシールやベストなどの啓発グッズをPTAへ配布したり、周知のため広報紙に啓発記事を掲載したりするなど、活動を支援しています。



令和3年度
教育長杯について

例年、児童・生徒が仲間づくりを通じて肉体的・精神的な健全育成を図ることを目的とし、少年少女スポーツ団体と品川区の共催事業として、教育長杯スポーツ大会を実施しています。

令和3年度は、野球、サッカー、バレーボール、ミニバスケットボールの4種目の大会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部の種目が中止・延期になっています。



教育長杯争奪
少年野球大会

第38回教育長杯争奪少年野球大会を、令和3年4月4日～11月6日まで、しながわ区民公園で開催し、中学生の選手で構成された9チームが参加しました。

優勝：EMクラブ
準優勝：富士見台中学クラブ
第三位：品川オールスターズ
…立会キングス



EMクラブ

※令和3年度のサッカー大会は中止、バレーボール大会とミニバスケットボール大会は3月で調整中です。大会結果は区のホームページで紹介いたします。

全国大会に出場する少年少女
および少年少女団体に遠征費
の一部を助成します

品川区を代表して全国大会に出場する少年少女に対して、出場に係る負担の軽減と、競技力等の向上を図るとともに、少年少女の文化・スポーツ活動を推進することを目的とし、一人一万円を助成します。

【対象となる大会】

官公庁またはこれに準ずる団体が主催・共催、または後援する全国規模の大会で、地方予選を経て選抜される大会

※区から他に類似する助成を受けた場合は対象外です。

【問い合わせ先】

スポーツ推進課少年少女スポーツ担当
☎574216943

水泳	7件
野球	6件
バドミントン	3件
サッカー	3件
ダンス関連	2件
ゴルフ・少林寺拳法 ・ソフトボール ・卓球・テニス ・フィギュアスケート	各1件

※令和3年度助成申請数
(2月1日時点)

第44回わんぱく相撲 品川区大会

「勇気・礼節・感謝」
わんぱく相撲

THE WANPAKU

開催概要

日程
2022年5月15日(日)

参加資格
品川区内在住または在学の小学生
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申込みください

会場
品川区立豊葉の杜学園(アリーナ)

住所
品川区二葉1丁目3番40号

<主催>
 わんぱく相撲品川区大会実行委員会
 <お問い合わせ先> わんぱく相撲品川区大会実行委員会事務局
 担当: 南田川 TEL: 080-6733-6302
 Email: shingawajci@gmail.com

新型コロナウイルス感染症対策においては、一人ひとりの感染予防に関する行動が、自分の命、家族、大切な人、そして社会を守ることにつながります。家庭や学校において、「新しい生活様式」に沿った行動を心がけていきましょう。

気を付けよう

正しい
手洗い

こまめな
換気

マスクの
着用

ソーシャル
ディスタンス